

平成29年5月定例記者会見要旨（平成29年4月27日開催）

1. 丸亀市長に梶氏が再選したことについて

まず、梶氏のご当選を心からお祝い申し上げたい。地方創生以降、自治体間の競争力が激しさを増し、国の方向性が素早く変わっている昨今、我々自治体を預かるものとしては先行きが、見えず困惑している状態である。隣接市であり、4年間一緒にやってきた梶氏とは、今後も引き続き連携できる場所は連携し、首長同士の研鑽を深めていければと考えている。

2. 坂出市長に再選された時に重点的にしたい施策、伝えたい施策について

市長就任以来、常に市民ニーズの把握に努め、市民の皆様の声を反映した市政運営を心掛けてきた。常日頃より、地域の様々な行事等に積極的に参加し、できるだけ多くの方々との意見交換に努めているところである。1期目より市長対話事業として「出前ミーティング」「市長サロン」を開始。私自身が直接、市民の皆様と意見交換を行うものであり、現在も継続して実施している。2期目からは、新たに「出前市役所」の制度を創設。地域が抱える課題は地域ごとに異なっていることを踏まえ、市の職員（部課長）が各地区の会議に出席し意見交換等を行い、地域の課題の把握等に当たるなど、様々な活動を展開しているものである。再選された時には、初心を忘れることなく、市民の皆様の声にしっかりと耳を傾け、市民の皆様と共に歩んでまいりたいと考えている。

また市民の皆様が「健やかに」「幸せに」暮らすことで、今まで以上に「坂出に住んでよかった」と思えるまちを目指したい。数年前から実施しているラジオ体操普及事業は、市民の皆様の自主的な取り組みであり、当初は小さな試みであったが、今では大きく、そして定着した取り組みになっている。市民の皆様一人ひとりの健康増進、しいては健康寿命の延伸を図り、さらなる市民共働で、すこやかに、しあわせな「健幸のまちづくり」を推進したい。

坂出市の中心市街地については、様々な公共施設や文教施設が集積され、生活の利便性が非常に高い地域である。一方で、狭い道路によって構成されているため災害等の発生時には家屋倒壊や火災の延焼等が懸念される。こうした状況を踏まえ、まちなかの防災力を強化するとともに、利便性の高さを生かした中心市街地の活性化を図るため、密集市街地の環境整備を進めるなど「まちなか再生」にも取り組みたい。

また、この利便性の高い中心市街地と地域の拠点が公共交通ネットワークで連携された、「コンパクトシティー・プラス・ネットワーク」の実現に向けた立地適正化計画等の策定作業も進め、引き続き「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち さかいで」の実現に向けて邁進したい。

3. 3月31日に川崎重工業株式会社が公表した「船舶海洋事業の構造改革」について

撤退でなくてよかった。ほっとしているところ。新しいカンパニーに期待したい。坂出市としてもできることがあれば積極的に行いたい。